2005 年 5 月

美しいサンアントニオ　公立小学校視察

先月号で、ご報告したように、TESOL の学会発表の為に、テキサスのサンアントニオに行ってまいりました。行く前は、仕事やら、学会の準備やらで、全くサンアントニオについての事前情報を入手する暇がありませんでした。大学院の卒業式に午前中に出席し、午後の卒業証書授与式には、出席せず、成田に向かいました。成田空港の本屋で、ようやく、ガイドブックを見ましたが、『アメリカ南部』のガイドブックにも、サンアントニオは、のっていませんでした。日本では、あまり観光地として知られていないようです。

サンアントニオは全米で 8 番目に大きく、全米で 2 番目に古い都市です。一般的にアメリカは 200 年の歴史があると言われていますが、ここは、300 年の歴史があります。1718 年にスペインの宣教師 Antonio Olivares 神父が伝道協会 San Antonio de Valero を開設し、そこは、1836 年に 4000 人のメキシコ軍に対し、189 人のテキサス人が向い討ち、司令官トラビス、英雄デイビー・クロケットを含むほぼ全員が戦死したことで有名な『アラモの砦』となりました。『アラモの砦』は町の中央にあります。

街の中央に川が流れていて、川沿いのリバーウオークが最高でした。川の両側に、洒落たホテルやレストランが立ち並び、ラテンやジャズ、カントリーミュージックなどの生演奏がいたるところで、行われていました。ボートに乗ると 40 分間の周遊が楽しめます。

同じ南部でもアトランタは黒人の町、サンアントニオは、アメリカンインディアンとメキシコの文化が色濃く影響している都市でした。そのせいか、あまりアメリカに来たという気がしませんでした。のんびりしていて人々は愛想がよく、本当にすてきなところでした。国内の新婚旅行地と言うのも納得できました。